

## 鉄斎 一扇絵を楽しむ

近代文人画の巨匠・富岡鉄斎（1836～1924）は、数多くの扇絵を遺したことで知られています。

鉄斎は既製の白扇に書画を描くことを好くし、慶事や諸事の返礼に気軽に筆をとりました。勅題、吉祥、山水花鳥、中国日本の故事逸話など画題は多彩で、湾曲する扇形を巧みに活かした構成と自由闊達な運筆は見る者を魅了してやみません。文芸批評家・小林秀雄は「鉄斎は扇面描きの達人で、独創的な優品が多く」といい、また別に「扇面だけを集めて立派な画集が出来るような画家は、鉄斎の他あるまい。扇面を描くにかけては全く古今独歩の画家とっていいであろう」と賞賛しました。

扇面はその形状から末広がりに通ずるので、古来より縁起のよいものとされています。鉄斎が楽しんで描いた扇絵と新春にふさわしい絵画や器玩を展観し、新しい年を寿ぎたいと思います。

### 《出品リスト》

[絵画]

No.	名称	制作年		年齢	寸法	材質	員数
1	名勝十二月図	慶応2	1866	31	133.3×63.0	紙本淡彩	1幅
2	蓮月・鉄斎合作扇面画帖	明治3	1870	35	各18.0×51.0	紙本着色	1帖
3	野遊賞月図 大田垣蓮月歌賛	明治6	1873	38	15.3×44.8	紙本墨画	1幅（扇面）
4	雪中牡丹図			30代	123.3×36.2	紙本淡彩	1幅
5	菊花図 大田垣蓮月歌賛	明治8	1875	40	13.0×37.9	紙本墨画	1本（扇子）
6	有喜大尽図并唱歌			50代	各16.6×50.8	紙本着色・墨書	2面（扇面）
7	砧図			50代	12.0×38.0	紙本淡彩	1本（扇子）
8	獅子舞図			50代	128.1×50.7	紙本着色	1幅
9	鶴図・亀図			50代	各12.2×38.2	紙本着色	2本（扇子）
10	高尾楓葉図			50代	17.5×45.0	紙本淡彩	1面（扇面）
11	諸家蔬菓図	明治32	1899	64	17.8×46.8	紙本着色	1本（扇子）
12	富士山頂図	明治36	1903	68	16.6×53.1	紙本墨画	1面（扇面）
13	富士山図			60代	16.3×53.4	紙本着色	1面（扇面）
14	蓮華図			60代	16.1×51.8	紙本淡彩	1面（扇面）
15	東山雪霽図	明治43	1910	75	16.5×53.2	紙本着色	1面（扇面）
16	蘭亭真景図	大正2	1913	78	16.4×50.0	紙本墨画	1本（扇子）
17	観瀑図	大正3	1914	79	16.4×53.0	紙本墨画	1面（扇面）
18	宇治勝景図			70代	16.5×50.0	紙本淡彩	1本（扇子）
19	山陽逸事図			70代	18.4×49.5	紙本着色	1本（扇子）
20	通天晚秋図			70代	16.4×53.0	紙本淡彩	1面（扇面）
21	澱江船図			70代	16.2×50.0	紙本墨画	1本（扇子）
22	桜花瓶図			70代	17.6×48.0	紙本金地着色	1本（扇子）
23	嵐山春暁図			70代	16.5×53.3	紙本淡彩	1幅（扇面）
24	梅花図			70代	16.4×54.2	紙本墨画	1面（扇面）
25	朱竹図			70代	16.7×53.8	紙本淡彩	1面（扇面）
26	古木寒鴉図			70代	16.5×53.1	紙本淡彩	1面（扇面）
27	紫式部図			70代	16.4×52.7	紙本淡彩	1面（扇面）
28	蓮壑絶頂図			70代	16.0×43.8	紙本着色	1本（扇子）
29	蝴蝶図	大正4	1915	80	16.5×53.0	紙本着色	1面（扇面）
30	竹石図	大正4	1915	80	16.5×51.4	紙本墨画	1本（扇子）
31	多福多寿多男子図	大正5	1916	81	17.4×53.1	紙本着色	1面（扇面）
32	祝慶扇 松林図・梅林図	大正5	1916	81	各16.2×48.5	紙本金地着色	2本（扇子）
33	扶桑僊境図	大正6	1917	82	18.7×55.1	絹本着色	1面（扇面）
34	遠山雪図	大正6	1917	82	17.4×55.4	絹本着色	1面（扇面）
35	平安勝景図	大正6	1917	82	16.5×51.0	紙本着色	1本（扇子）
36	無眼評古図	大正6	1917	82	19.5×65.0	紙本淡彩	1面（扇面）
37	鍾馗嫁妹図	大正7	1918	83	19.5×57.9	絹本着色	1面（扇面）
38	八哥育児図	大正7	1918	83	19.8×57.9	絹本金地着色	1面（扇面）
39	海辺松図	大正7	1918	83	15.0×52.5	絹本淡彩	1面（扇面）

40	寿老人図	大正 7	1918	83	54.4×47.8	紬本着色	1 幅
41	高士閑居図	大正 8	1919	84	16.5×46.7	紙本墨画	1 本 (扇子)
42	社頭暁景図	大正 10	1921	86	40.5×66.0	絹本着色	1 面
43	扇水僂図	大正 10	1921	86	16.5×49.4	紙本着色	1 本 (扇子)
44	竹窓聴雨図	大正 10	1921	86	17.6×53.0	紙本淡彩	1 幅 (扇面)
45	天空海闊図	大正 10	1921	86	16.5×49.0	紙本着色	1 本 (扇子)
46	静坐息機図	大正 10	1921	86	17.6×53.0	紙本着色	1 面 (扇面)
47	龍負蓬莱図	大正 10	1921	86	48.1×56.7	絹本金地着色	1 面 (扇面)
48	東坡笠履図	大正 10	1921	86	16.2×53.0	紙本淡彩	1 面 (扇面)
49	水郷消暑図	大正 11	1922	87	21.0×69.5	紙本着色	1 本 (扇子)
50	歳寒二友図	大正 11	1922	87	16.4×53.0	紙本着色	1 面 (扇面)
51	蘭図・梅図 (表裏)	大正 11	1922	87	13.5×43.3	紙本金銀泥	1 本 (扇子)
52	西湖孤山図	大正 11	1922	87	10.2×33.0	紙本墨画	1 本 (扇子)
53	東坡居士江山詩意図	大正 12	1923	88	53.4×64.0	紙本墨画	1 幅
54	山水図・蔬菜図	大正 12	1923	88	各 16.4×49.8	紙本淡彩	2 本 (扇子)
55	蓬莱山図	大正 13	1924	89	39.8×56.4	絹本着色	1 面 (扇面)
56	絵島図・煎茶図	大正 13	1924	89	各 65.8×20.6	紙本墨画	2 幅
57	花中君子図	大正 13	1924	89	39.0×62.0	絹本着色	1 面 (扇面)
58	嵐山春暁図	大正 13	1924	89	16.4×53.0	紙本淡彩	1 面 (扇面)
59	鶯宿梅図	大正 13	1924	89	16.6×53.8	紙本淡彩	1 面 (扇面)
60	仏法僧鳥図	大正 13	1924	89	16.6×54.8	紙本淡彩	1 本 (扇子)
61	瓶菊図	大正 13	1924	89	16.6×53.8	紙本着色	1 面 (扇面)
62	墨龍図	大正 13	1924	89	16.3×53.0	紙本墨画	1 面 (扇面)

[器玩・遺愛品]

No.	名称	制作者等	制作年	寸法	員数
63	紅葉絵団扇	富岡鉄斎絵	大正 3   1914	37.2×21.4	1 本
64	竹絵団扇	富岡鉄斎絵	明治～大正	41.5×27.0	1 本
65	涼炉	十七代雲林院宝山造・富岡鉄斎書	大正 6   1917	12.3×12.3×17.4	1 基
66	炉台	十七代雲林院宝山造・富岡鉄斎書	大正 6   1917	14.7×14.7×1.7	1 枚
67	湯罐	十七代雲林院宝山造・富岡鉄斎書	大正 6   1917	11.5×11.5×7.6	1 口
68	煎茶碗	十七代雲林院宝山造・富岡鉄斎書	大正	各 6.2×6.2×5.0	5 客
69	炉扇	中島菊斎造・富岡鉄斎書	大正 6   1917	24.0×13.8	1 本
70	扇式罐坐	中島菊斎造・富岡鉄斎絵	大正 7   1918	14.0×10.7×2.9	1 枚
71	芭蕉形盆	中島菊斎造・富岡鉄斎絵	大正 9   1920	68.5×24.5×2.8	1 枚
72	扇式菓子器	中島菊斎造・富岡鉄斎絵	大正 11   1922	32.5×27.4×7.5	1 口
73	蘭絵団扇	富岡鉄斎絵	大正 12   1923	33.8×21.5	1 本
74	宝珠絵槌	中島菊斎造・富岡鉄斎絵	大正 13   1924	6.6×7.7×14.4	1 個
75	竹詩画団扇	富岡鉄斎絵	大正 13   1924	41.7×32.0   40.3×31.0	2 本
76	仿銅器式桐香炉	中島菊斎造・富岡鉄斎絵	大正 13   1924	25.0×20.0×24.0	1 基
77	子育馬香炉	平賀源内模造 富岡鉄斎箱書	安永 3   1774	12.4×27.8×31.5	1 基

◆ 次回展覧会 ◆

「鉄斎—仙境への道—」 2014年4月1日[火]～6月22日[日]

鉄斎美術館・宝塚市立中央図書館共催企画展  
**「日本の文人画と鉄斎」**  
 会 期：2013年12月8日[日]～2014年2月11日[火・祝]  
 開館時間：午前10時～午後5時  
 休 館 日：水曜日、第2金曜日、12月29日(日)～1月3日(金)  
 会 場：宝塚市立中央図書館聖光文庫 TEL 0797(84)6121  
 〒665-0836 宝塚市清荒神1丁目2番18号  
 阪急宝塚線 清荒神駅前 【入場無料】



[交通案内]

- 阪急電車を利用の場合…宝塚線清荒神駅下車、徒歩15分 ● JRを利用の場合…宝塚線宝塚駅下車、タクシーで約10分
- 車を利用の場合…国道176号線、宝塚歌劇場前交差点を北へ約2km (清荒神清澄寺の無料駐車場を利用ください。但し1月の4日(土)、日・祝は交通規制があります。JR宝塚駅から清荒神駅前まで臨時バス[阪急バス]を往復運行しています。)